

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年4月1日～2024 年3月31日)



恒例！金山清掃

力 加藤建設興業株式会社

発行日： 2025年3月6日

目 次

項 目	ページ
メッセージ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6、7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8
これまでの環境活動の紹介	8



渡良瀬川も清掃しました！

お客様への感謝の気持ちと チームワークを大切にしています。



加藤建設興業は、明治元年の創業以来、100年以上の歴史があります。ここまで続けられたのは、よい物を次世代に継承していく信念とお客様の利益を最優先に仕事をしてきた結果だと自負しております。弊社の仕事の多くは、道路や橋の整備を目的とした公共工事や大学、県、市等の公共施設の改修、新設工事など。どんな事業でも、受注した仕事は、金額によって、協力（下請け）業者の選別をすることはありません。いつも同じ業者と一緒に物を造ることで、信頼と実績に基づいた、妥協のない仕事を可能にしています。また、社員を大事にして働きやすい環境づくりにも努めています。

今後も、お客様への感謝の気持ちとチームワークを大切に、事業展開をして参ります。皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役専務 加藤 敏光

環境方針

＜基本理念＞

私たちは、建設業を営み、それが地球環境に負荷を与えていることを充分認識し、地球環境に配慮した事業活動を行うと共に地域の生活環境保全に努めます。

法令遵守を徹底し、小さなことから少しずつでも地球環境への負荷低減に貢献できるように基本方針を定め自主的・積極的に環境改善に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1． 建設事業の活動を通じ、環境経営システムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め省エネルギー、省資源化を図り継続的に改善に努めます。
- 2． 事業活動に関連する環境関連法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
- 3． 事業活動に伴う環境負荷に対し、次の事項に優先的に取組み低減化に努めます。
 - ①災害時の対応を含め、地域の生活環境復旧を最優先に取組みます。
 - ②二酸化炭素排出量の削減に努めます。（電気・水道・ガソリン等の資源の節約）
 - ③グリーン購入・エコマーク商品の購入に努めます。
 - ④建設工事に伴う環境側面等を考慮した事業活動を推進します。
 - ⑤下請等の協力会社に環境への取組み参加の促進をします。
 - ⑥地域社会とのコミュニケーションを図り、環境ボランティア活動を実践し、地域貢献に努めます。
- 4． この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

制定 2017年4月1日
加藤建設興業株式会社
代表取締役 **加藤 恭栄**

改定 2020年5月9日

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名

加藤建設興業株式会社

代表取締役 加藤 恭栄
- (2) 所在地

本 社

群馬県太田市大原町651番地

TEL 0277-78-2855

東京支店

東京都中央区日本橋富沢町5-10 月村マンションNo.28 503

TEL 03-6264-9189

みどり支店

群馬県みどり市大間々町大間々76-5

TEL 0277-46-6370
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

藤田 明秀

TEL 080-1053-5710
- (4) 事業内容

総合建設業(土木、建築、大工、とび・土工、屋根、管、鋼構造物、舗装、塗装、防水、内装仕上、造園、水道施設、解体)
- (5) 事業の規模

売上高 67,936 万円

	本 社	東京支店	みどり支店		合計
従業員 名	18 名	2 名	2 名		22 名
延べ床面積 m ²	673.94 m ²	40.00 m ²	44.71 m ²		758.65 m ²
- (6) 事業年度

4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名:

加藤建設興業株式会社
- 対象事業所:

本 社

東京支店

みどり支店
- 対象外:

なし
- 活動:

総合建設業

(土木、建築、大工、とび・土工、屋根、管、鋼構造物、舗装、塗装、防水、内装仕上、造園、水道施設、解体)

□許可・登録の種類

- 建設業許可

許可番号

:国土交通大臣許可(特-3)第26452号

有効期限

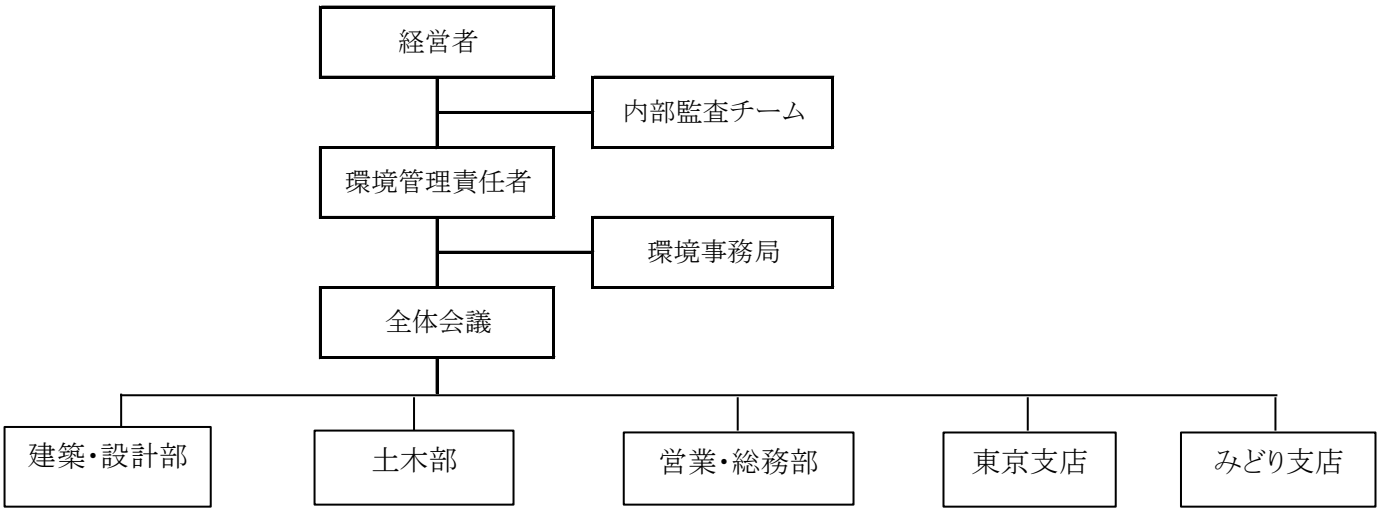
:令和3年12月1日 ～ 令和8年11月30日
- 二級建築士事務所

許可番号

:群馬県知事 第3649号

有効期限

:令和2年4月14日 ～ 令和7年4月13日



	役割・責任・権限
経営者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境マネジメントシステムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、全体会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（各事業所に備付けと地域事務局への送付）
全体会議	・環境経営計画の審議 ・環境経営活動実績の確認・評価
部門長・支店長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	44,345	48,060	76,575
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	914	897	955
産業廃棄物排出量	t	1,245,620	961,540	971,197
総排水量	m ³	265	315	95
※二酸化炭素排出係数 0.441 kg-CO2/kWh 電力会社の調整後の係数				

□環境経営目標及びその実績

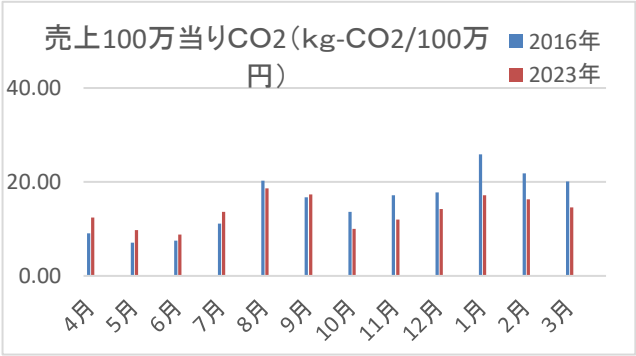
年 度 項 目		2016年	2023年		評 価	2024年	2025年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減(売上高百万円当り)	kg-CO2 /百万円	15.69	14.59	13.74	○	14.44	14.28
	基準年度比		93.00%	87.54%		92.00%	91.00%
自動車燃料による二酸化炭素削減(売上高百万円当り)	kg-CO2 /百万円	52.60	49.97	98.36	×	49.44	48.91
	基準年度比		95.00%	187.02%		94.00%	93.00%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2 /百万円	68.29	64.56	112.10		63.88	63.19
建設指定副産物のリサイクル率維持	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
	基準年度比		100%	100%		100%	100%
水資源使用量の削減(m ³ /人)	m ³ /人	19.73	18.35	4.32	○	18.15	17.96
	基準年度比		93.00%	21.88%		92.00%	91.00%
グリーン購入の推進	%	1.00%	30.00%	39.69%	○	30.00%	30.00%
環境に配慮した施工の推進	行動目標(次項による)						
災害を含めた緊急時対応 100%	常に達成率100%を維持						

※化学物質の使用はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減(売上高百万円当り)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	昨今の電気料金の高騰や気温の上昇に伴い目標達成が難しくなっている。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ブラインドの利用	○	
・OA機器の省エネモード設定	○	
・クールビズ、ウォームビズの励行	○	



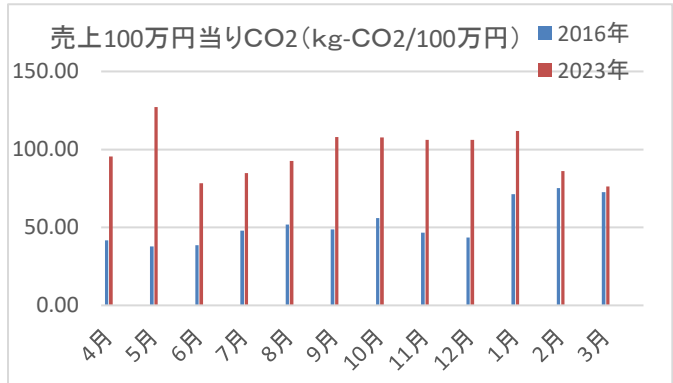
不要箇所の消灯



ブラインドを併用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2016年	9.05	7.11	7.52	11.17	20.30	16.72	13.67	17.19	17.76	25.87	21.83	20.10
2023年	12.41	9.73	8.83	13.64	18.64	17.37	9.98	11.99	14.23	17.14	16.31	14.55

自動車燃料による二酸化炭素削減(売上高百万円当り)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	通期で目標未達成となってしまった。 偏に売上高の減少による。
・アイドリングストップ	○	
・同一方向への相乗り	△	
・不要な荷物を積まない	△	



荷室の点検
不要物は積みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2016年	41.63	37.89	38.48	47.82	51.73	48.80	55.90	46.53	43.52	71.20	75.12	72.52
2023年	95.36	127.16	78.33	84.86	92.55	107.82	107.56	106.16	106.16	111.89	86.15	76.36

建設指定副産物のリサイクル率維持	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	例年同様に良好な結果が得られた。 変動要素の大きい廃棄物への取り組みについて 受注内容を基に検討中。
・分別の徹底(コンテナボックス設置)	○	
・リサイクル可能業者への委託継続	○	
・下請への方針周知徹底(委託先選定時)	○	



アスファルト殻

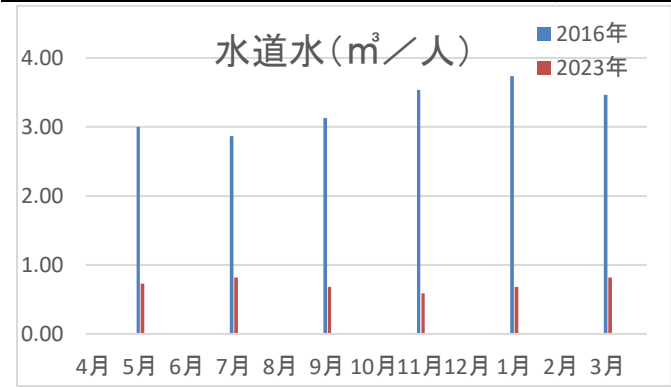


再生プラント搬入



現場事務所敷地での分別

水資源使用量の削減 (m ³ /人)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	増員及び節水の励行により数値が薄まり、数値に余裕がある達成となった。
・節水励行の注意喚起	○	
・節水コマの機能維持	○	
・水道配管の漏水点検	○	



社内注意喚起用ポスター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2016年	0.00	3.00	0.00	2.87	0.00	3.13	0.00	3.53	0.00	3.73	0.00	3.47
2023年	0.00	0.73	0.00	0.82	0.00	0.68	0.00	0.59	0.00	0.68	0.00	0.82

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	作業着のエコ製品切替が定着出来た為、目標達成。事務用品の切り替えを継続検討する。
・有害性の少ない資材の購入	○	
・低燃費自動車の採用	△	
・エコ認定作業着の購入	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	△	



環境に配慮した施工の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・施工計画時の環境配慮内容反映検討	○	ICT施工実績を着実に積み重ねてきている。新工法の下水道管更生工事を2案件受注できた。社内への知見蓄積も得られ、尚且つ競合他社との競争力維持に貢献し始めた。
・低騒音型重機の使用	○	
・積極的な再生材使用	○	
・新技術の積極採用	○	



植林代行システムの安全看板(間伐材利用)採用によるCO2削減

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物排出(廃プラスチック類、木くず、がれき類、建設混合廃棄物 等)
建設リサイクル法	新築工事、増築工事、改修工事、解体工事、建設副産物
騒音規制法	杭打ち機、空気圧縮機等を使用する作業
振動規制法	杭打ち機、舗装盤破碎機等を使用する作業
建築基準法	内装工事、空調設備工事
土壌汚染対策法	土工事
オフロード法	建設機械の使用、協力会社の持込み管理
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年6月19日

【今年度の総評】
昨今の気温の上昇と電気料金の高騰に伴い、電気の削減項目は非常に厳しいと言わざるを得なくなっている。
取組自体は徹底されているので、ルールよりも新しい技術や製品を今後は取り入れていく。

【次年度に向けて】
目標指標を売り上げベースで考えているため、売り上げを上げる活動をする。

- 環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制
- ☒ 変更なし

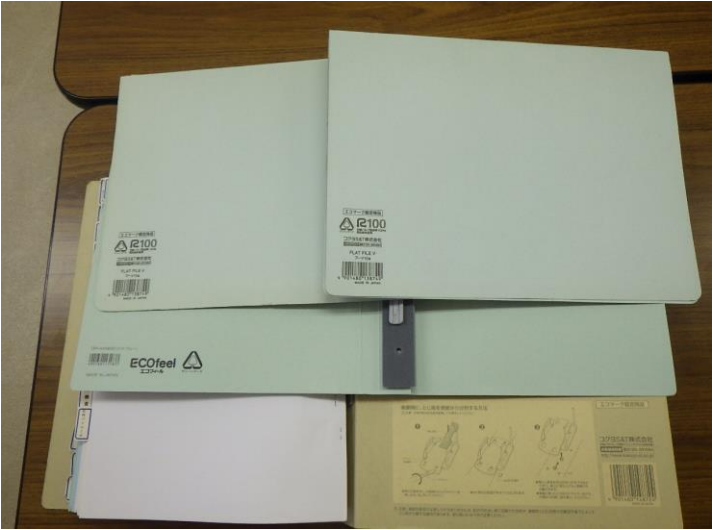
☒ 変更なし

☒ 変更なし
- ☐ 変更あり

☐ 変更あり 但し実績を踏まえて適宜見直す

☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



作業着もちろんエコ商品



グリーン購入は徹底しています。